



## 県内出身の 戦没者8千柱を 超える遺影



## 戦争と平和を 考えるパネル展示 と遺品展示

### 戦没者の顕彰

館内中央には、6列12面の展示ボードが長く伸びます。岡山県出身戦没者の肖像写真・ご芳名を、市町村ごとに展示しました。

第二次大戦で亡くなった日本の陸海軍人・軍属（軍関係者）は、約240万人と推定されます。このうち、岡山県出身者は約5万人とされ、さらに日米開戦以前の中国大陸での戦死者を加えると、約58,000人に及びます。

ここには遺族から申請があった約8,000柱を展示しています。

### パネル展示 戦争と平和

戦没者の肖像写真・ご芳名を囲む壁には、戦争と平和をテーマにした解説パネルを展示しました。全23枚のパネル「対米開戦と戦後の暮らし」(13枚)「戦時中の岡山」(7枚)「戦後社会と遺族のあゆみ」(3枚)という構成になっており、時代背景を説明した説明文と共に、写真・年表・地図を展示しています。

